



トステム株式会社

## リビング建材 ウッディーライン クローゼット折れ戸

## 取付け説明書

## ■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に使用者などが中程度の障害、軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

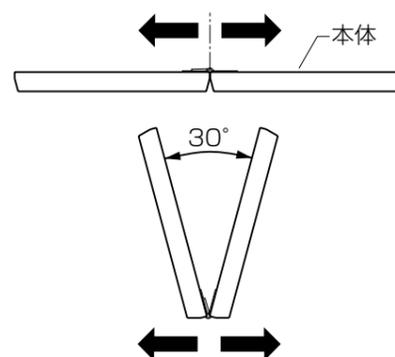
## ▲注意

- 吊車は本体にねじ止めし、ガタツキがないように固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 上レールは仮固定ですので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 枠固定金具が柱に固定されていることを確認してください。固定ねじの締め忘れは枠・本体の脱落の原因になります。

## ■本体の開閉操作上のお願い

本体を開閉する際は、下記事項を守って操作してください。

- 本体をフラットのまま移動させます。
  - 30°の角度で本体が一時固定するようになっていきますので、この状態で移動させます。
- ※角度が30°未満の状態では移動させないでください。この場合、動きがギクシャクしたり下部のローラーがレールから外れたりする場合があります。

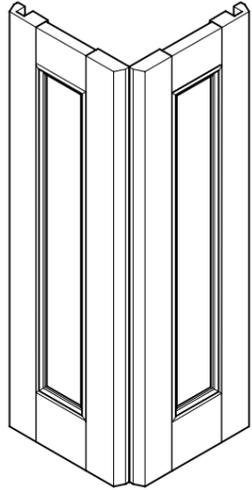
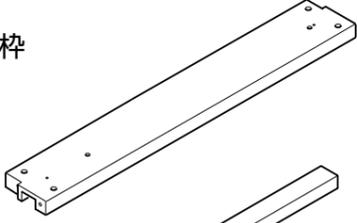
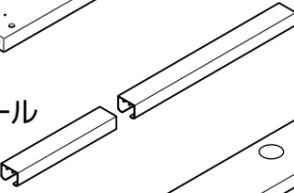
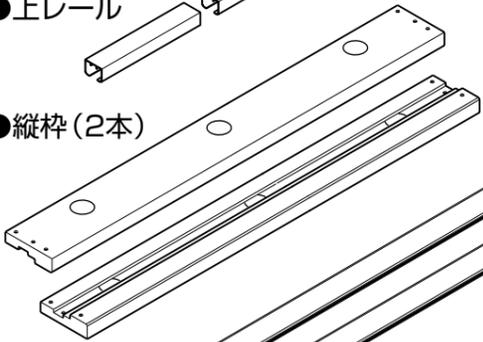
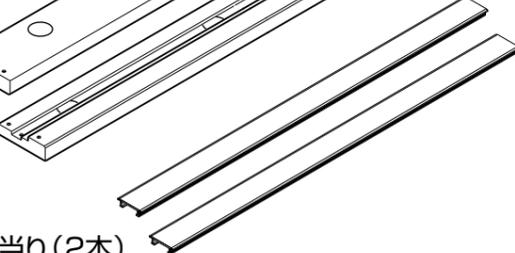
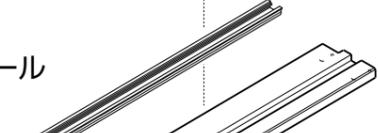
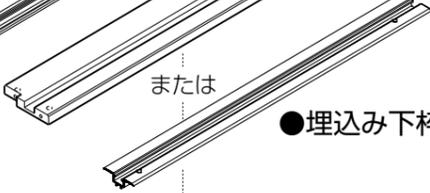
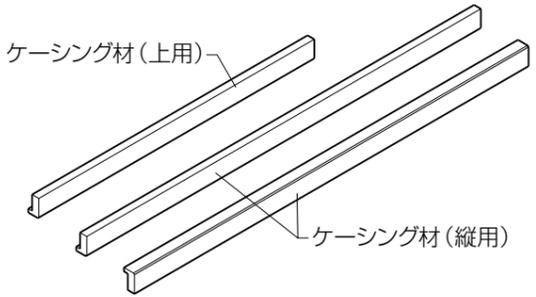


## ■施工上のお願い

- 本製品は上吊り方式のため、梁又はまぐさで重量を受けますので、本体重量に耐える断面の梁又はまぐさをご使用ください。
- ミラータイプの本体は、1つの枠の中に1枚のみとしてください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時には必ず接着剤を併用してください。
- かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます)
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 枠固定金具の調整範囲(調整幅7mm)を超える開口部については必ず柱・間柱を入れ調整範囲を満たすようにしてください。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくって納めてください。縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整してすき間をなくし内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合は、かい木を入れてください。上枠とまぐさのすき間は、必ずかい木を入れてください。
- 建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 運搬・加工の際は、傷付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。反り・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・傷などによる交換はできません。)
- 本体の把手に重量物をぶらさげないでください。把手が壊れ落下するおそれがあります。

■部品・部材の明細

■部材の明細

| 折れ戸本体  | 折れ戸用枠  | 折れ戸用下枠   |
|--|--|--|
| <p>●クローゼット本体</p>                        | <p>●上枠</p>  <p>●上レール</p>  <p>●縦枠(2本)</p>  <p>●戸当り(2本)</p>  | <p>●下レール</p>  <p>●下枠</p>  <p>または</p> <p>●埋込み下枠</p>  |
| ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)   |  |  |
|  <p>ケーシング材(上用)</p> <p>ケーシング材(縦用)</p> |  |  |

■本体用部品

|              | 吊車 | 皿タッピンねじ<br>φ3.5×20<br>(吊車取付け用) | ガイドローラー | 把手セット<br>(ねじ付) | 【WB1デザインの場合】<br>スペーサー(2個)<br>※WB1デザイン<br>のみ同梱 | 調整スパナ | ガイドローラー固定金具 |
|--------------|----|--------------------------------|---------|----------------|---|-------|-------------|
| W07・08       | 2  | 8                              | 2       | 1              |   | 1     | 1           |
| W12・13・16・18 | 4  | 16                             | 4       | 2              |   | 1     | 2           |
| W24・26・27    | 6  | 24                             | 6       | 3              |   | 1     | 3           |
| W33・34・36    | 8  | 32                             | 8       | 4              |   | 1     | 4           |

■枠用部品

|        | 皿小ねじ<br>M4×50<br>(上枠・縦枠組立て用) | トラスタッピンねじ<br>φ4×60<br>(上枠躯体取付け用) | ナベタッピンねじ<br>φ4×40<br>(枠固定金具取付け用) |
|--------|------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| W07・08 | 4                            | ※8                               | 8                                |
| W12・13 | 4                            | ※9                               | 8                                |
| W16・18 | 4                            | ※10                              | 8                                |
| W24    | 4                            | ※12                              | 8                                |
| W26・27 | 4                            | ※13                              | 8                                |
| W33    | 4                            | ※14                              | 8                                |
| W34・36 | 4                            | ※15                              | 8                                |

※予備用4本含む

■下枠用部品

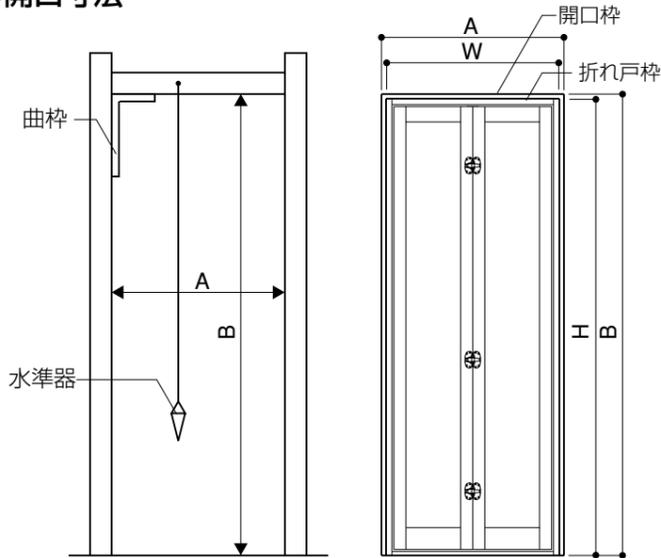
|             | 皿小ねじ<br>M4×50<br>(下枠組立て用) | 皿タッピンねじ<br>φ3.5×20<br>(枠取付け用) | 埋込下枠端部ピース |
|-------------|---------------------------|-------------------------------|-----------|
| 薄下枠W07~W08  | 4                         | 2                             | -         |
| 薄下枠W12~W18  | 4                         | 3                             | -         |
| 薄下枠W24~W36  | 4                         | 5                             | -         |
| 埋込下枠W07~W18 | -                         | 3                             | 2         |
| 埋込下枠W24~W36 | -                         | 5                             | 2         |

## ■開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

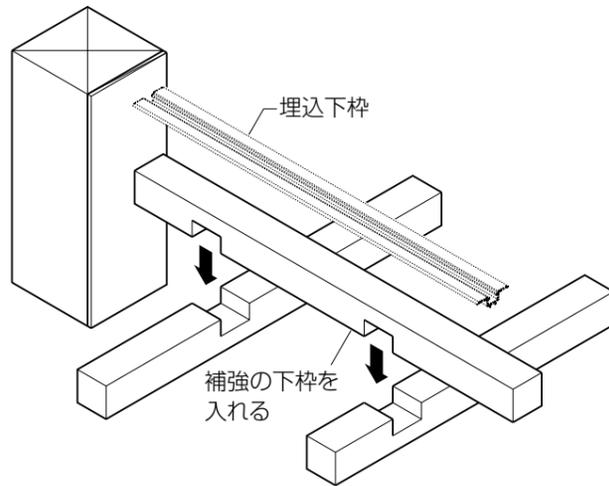
|       |           |
|-------|-----------|
| 開口寸法A | 製品寸法W+5mm |
| 開口寸法B | 製品寸法H+5mm |

### ●開口寸法



### ■下枠下地の確認

●枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。

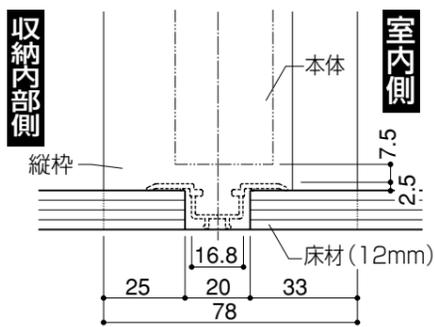


### 【埋込下枠を使用(枠後付け)する場合】

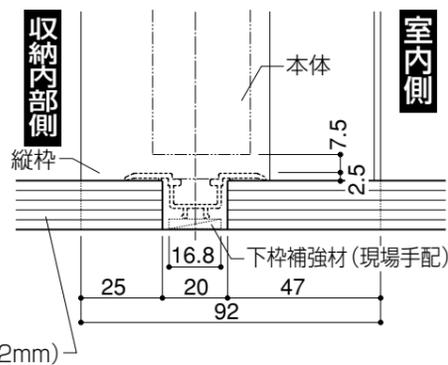
#### ■床張り位置(床の張込み)

●下図の位置に20mm(最小開口)あけて床材を張ってください。

#### 【ケーシング付タイプ】



#### 【ノンケーシングタイプ】

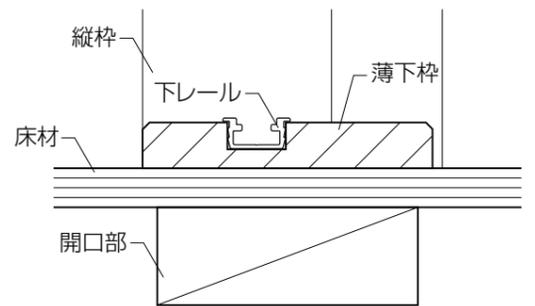


#### お願い

※床材は必ず上図の位置に張込んでください。床材の開口寸法が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

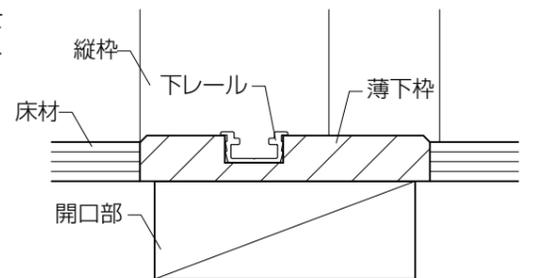
### 【薄下枠を使用する場合(床載せ納まり)】

●床材を張ってから枠を取付けてください。



### 【床後張り(枠先付け)の場合】

●枠取付け後、縦枠・薄下枠にそって床材を張ってください。



## ■取付け順序

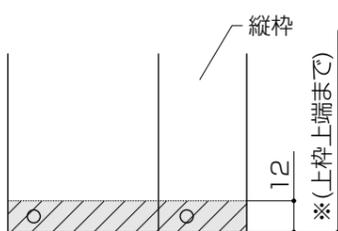
### 1 枠の組立て

#### 【埋込下枠を使用する場合】

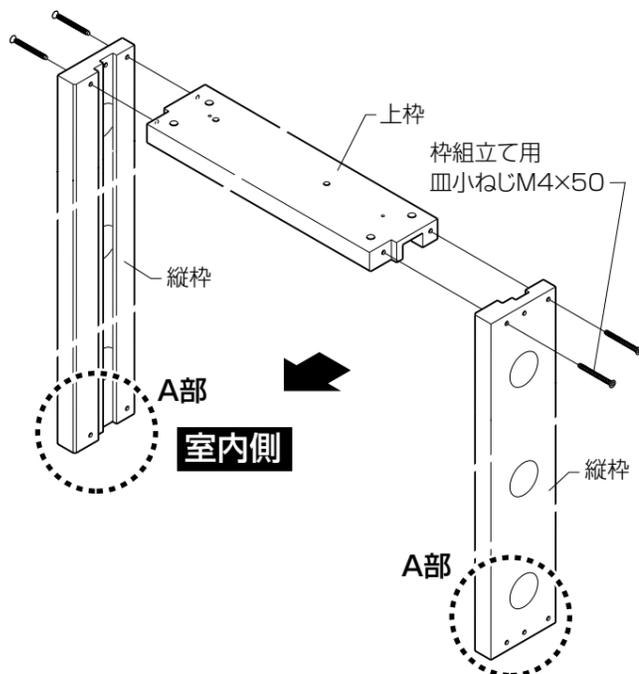
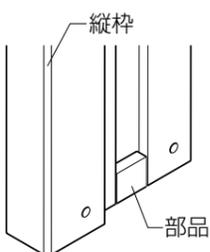
- ①縦枠下部(A部詳細図中斜線部)を切断してください。
- ②下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。

#### ■A部詳細図

※この寸法は床上面(F.L.)から上枠上端までの寸法を、H18=1823、H20=2023、H23=2306にする時の寸法値です。現場の納まりにより変更してください。

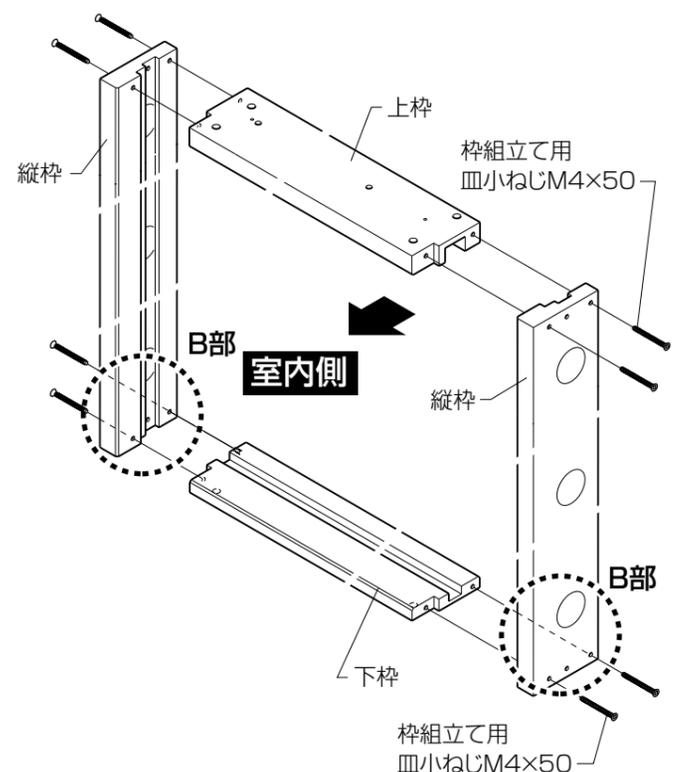


縦枠の下についている部品を取り外してから切断してください。又、切断後にはこの部品は不要です。



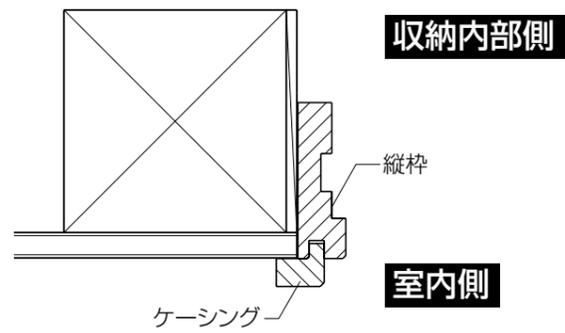
#### 【薄下枠を使用する場合】

- ※縦枠下部(B部)は切断せずに使用してください。
- ①下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。

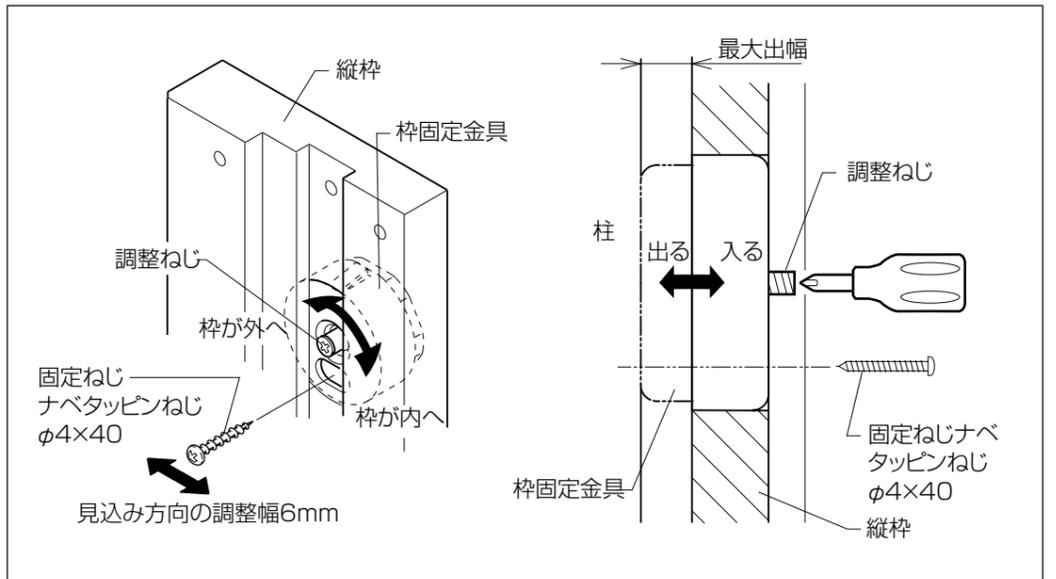


## 2 枠の取付け

- ①組立てた枠を開口部に入れます。ここでケーシングタイプの場合は、縦枠にケーシングを差込みます。枠の固定位置を確認します。  
※ケーシングの足は設定が限られており、後で調整することができません。このため、位置出しは確実に行ってください。  
※ケーシングは、位置出しのためですから、固定はしないでください。



- ②縦枠に取付けられている枠固定金具（縦枠に4個取付け。H18は3個。）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- ③枠の垂直を確認してください。
- ④固定ねじ（ナベタッピンねじφ4×40）を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
- ⑤枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじを緩め、枠を動かします。（奥行方向の調整幅は6mmです。）調整後、ねじを固定してください。
- ⑥枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
- ⑦再度、枠の垂直を確認してください。
- ⑧上枠・上レールはかい木をいれて水平になるように調整したあと固定ねじ（トラスタッピンねじφ4×60）で締め付けてください。



### お願い

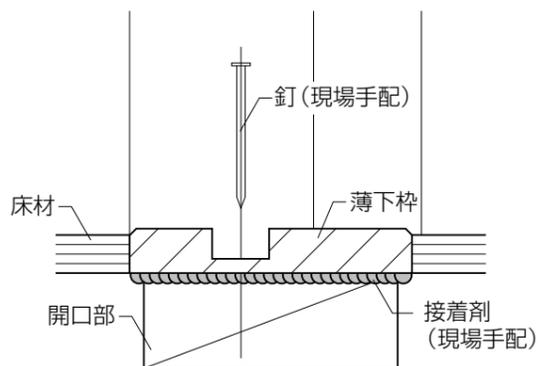
- ※枠の建付けはゆがみがないことを確認してください。ピボットタイプへ変更したとき、本体の開閉操作が重くなる場合があります。

### お願い

- ※枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。
- ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

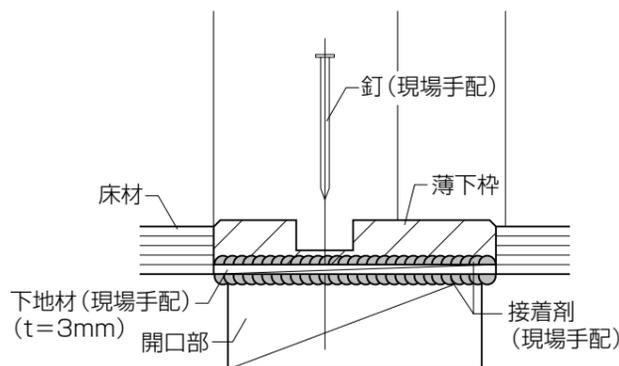
### 【床材厚さ12mm】

- ※必ず薄下枠に接着剤を付け、躯体に固定してください。



### 【床材厚さ15mm】

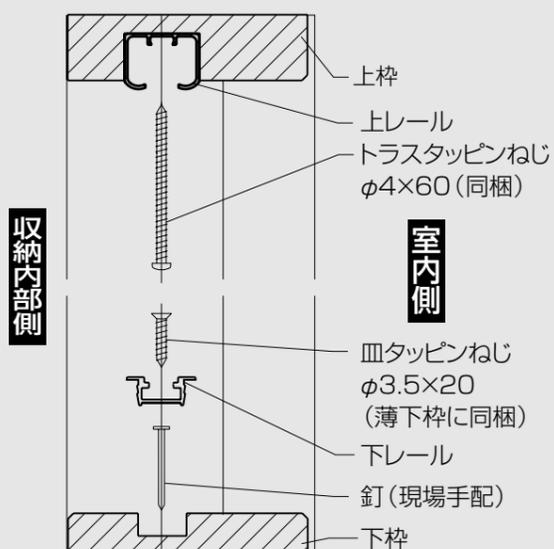
- ※必ず薄下枠と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。



### ▲ 注意

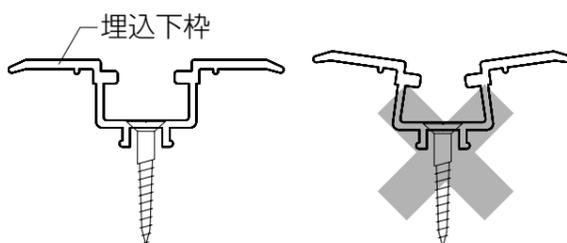
- 上レールは仮固定ですので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。

#### ■薄下枠を使用する場合



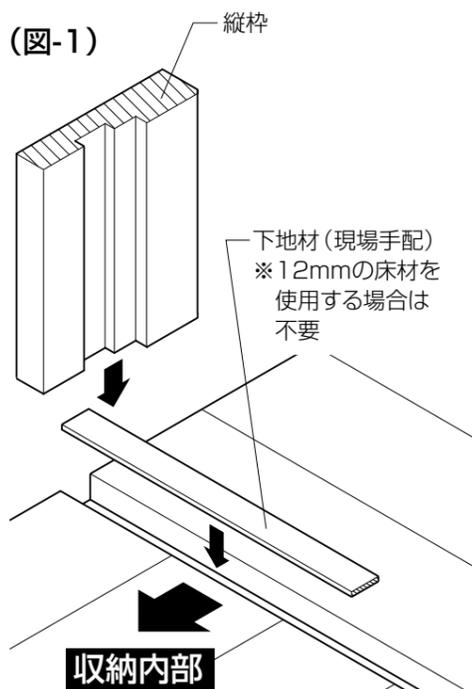
### お願い

- ※埋込下枠を取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。埋込下枠が変形し、本体開閉不具合の原因となります。

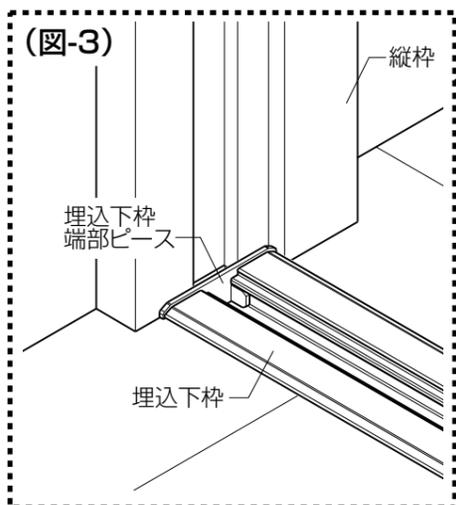


## ■埋込下枠の取付け

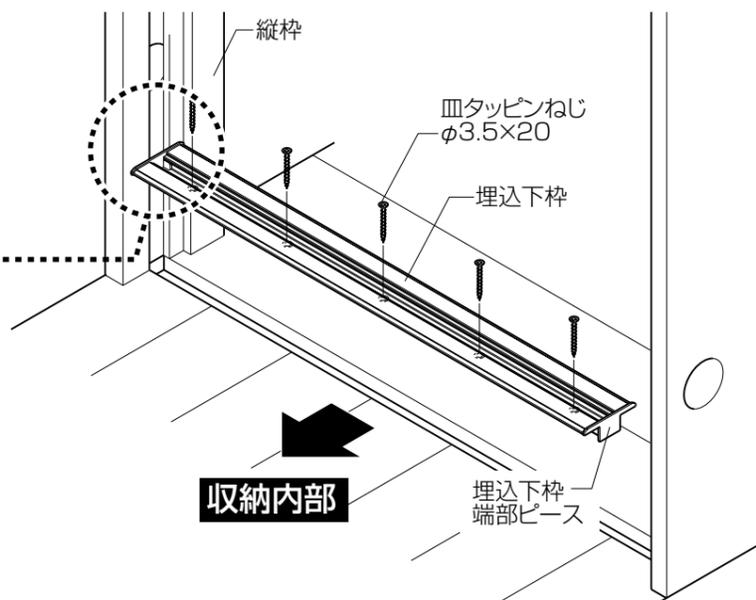
- ①(15mmの床材を使用する場合)下地調整材を床の開口部に取付けてください。(図-1)



- ②下枠ピースを埋込下枠両端部に取り付けた状態で床に埋込みます。(図-2) このとき、(図-3)のように縦枠の段差部にピースをあてて、位置決めをします。  
③埋込下枠をねじ(皿タッピンねじφ3.5×20)で固定します。

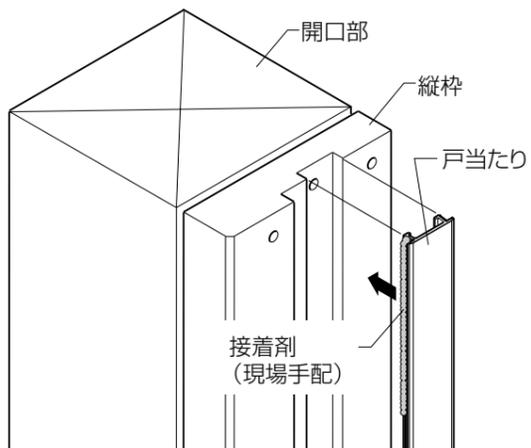


(図-2)



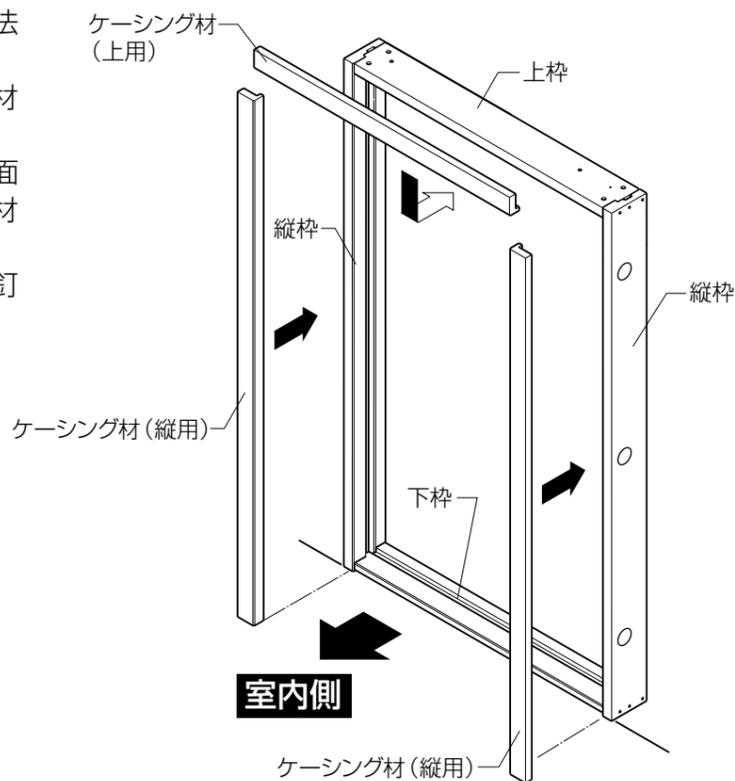
## ■戸当りの取付け

- ①戸当りに接着剤(現場手配)を付けて溝をふさぎます。  
※戸当りは必ず、下枠取付け後に取付けてください。  
戸当りを先に取付けると、埋込下枠が施工できなくなるおそれがあります。  
※戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。  
※戸当りの接着は必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。



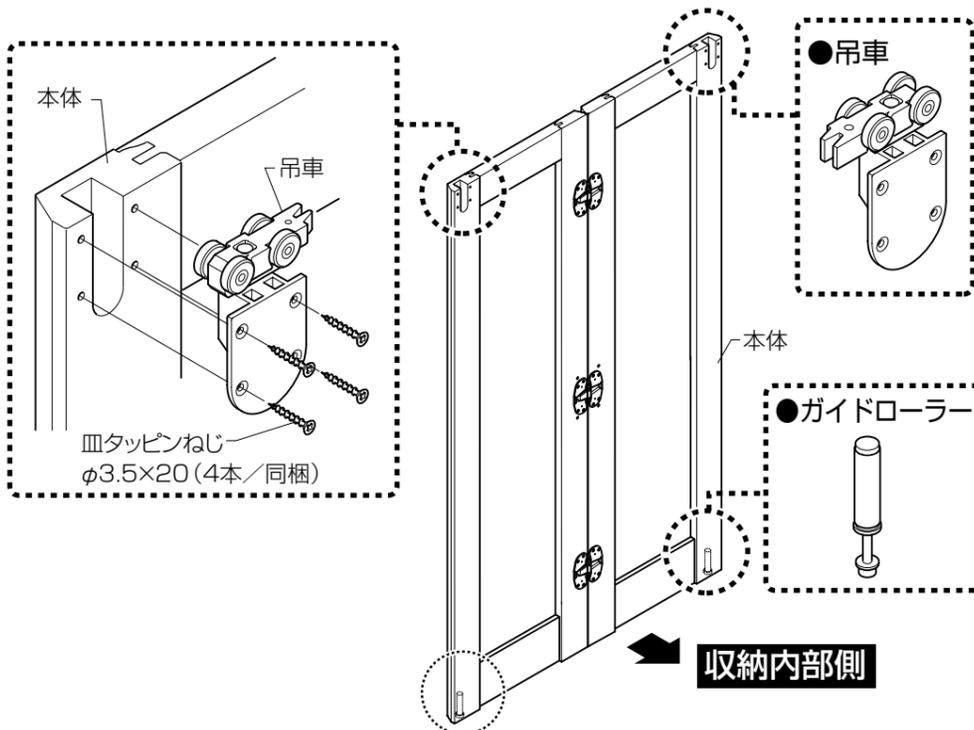
## ■ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)

- ※壁材・床材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。  
①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。  
②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。  
③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤を塗布し、ケーシング材を固定します。  
※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。

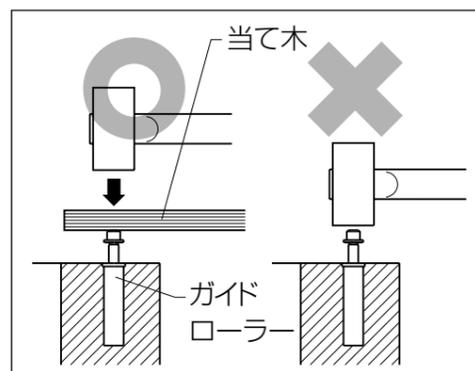


## ■本体の吊込み

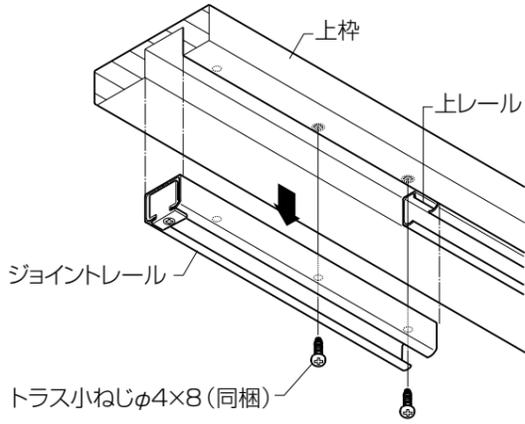
- ①本体上部の切欠き部に吊車を差込み、皿タッピンねじで固定します。ガイドローラーを本体の加工穴に圧入します。  
※ミラータイプの本体は、1つの枠の中に、1枚のみとしてください。



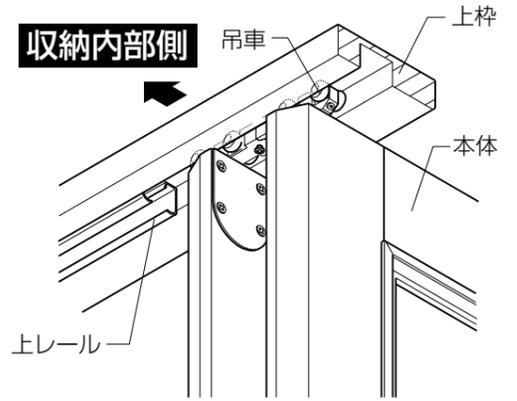
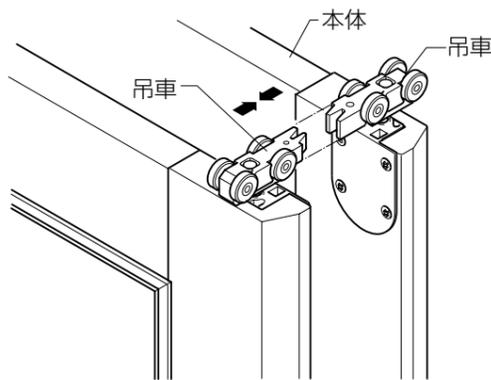
※ガイドローラーを圧入する際、樹脂部に当て木を使用してください。



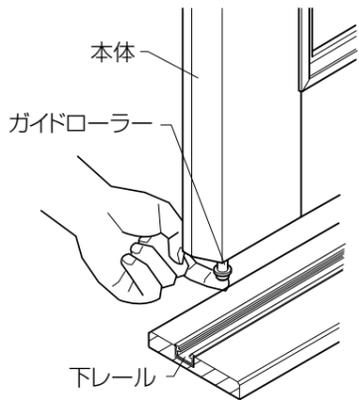
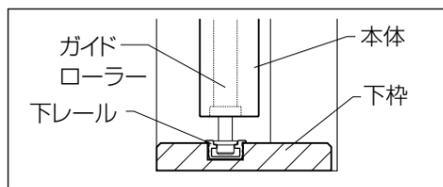
②本体を吊込む前にジョイントレールを取外します。



③本体を折りたたんで本体上部の左右の吊車をかみ合わせます。次に上枠のレール端から、吊車を差込みます。

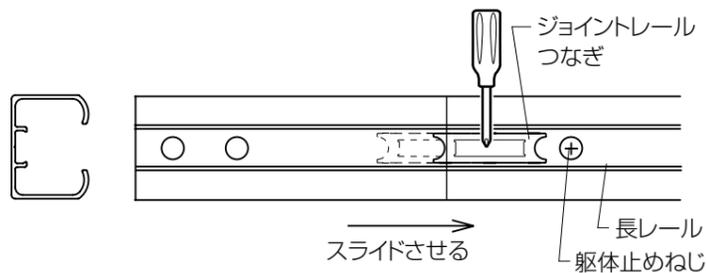
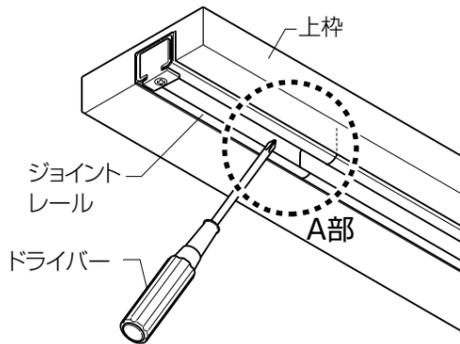


④ガイドローラー先端を指で押さえ、下部レールへ差込みます。



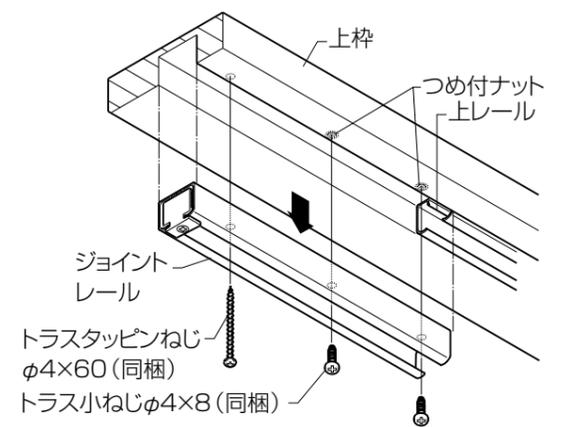
⑤本体を吊込んだ後、ジョイントレールを取付けます。

・ジョイントレールつなぎをスライドさせます。



※前後のズレを手で合わせ+ドライバーでジョイントレールつなぎをスライドさせます。

・レール間のすき間が出ないようにねじでジョイントレールを取付けます。



⑥把手を取付けます。

**【CF-WB1デザイン以外の場合】**

2枚の本体の裏面に把手取付け用の下穴が中間位置まであけてあります。把手を取付ける側の本体の下穴を貫通(φ4.5)してください。  
下穴をあける際には、本体裏側にあて木をし、バリがでないようにしてください。

**【把手の位置について】**

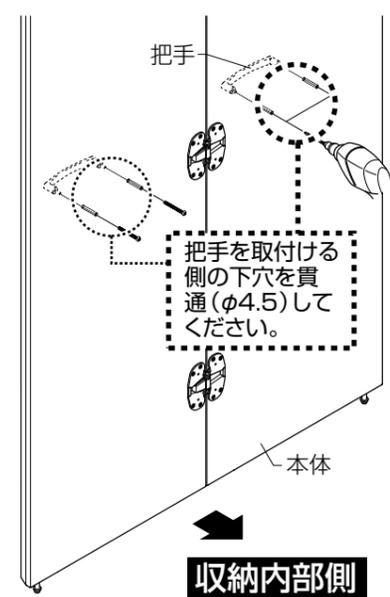
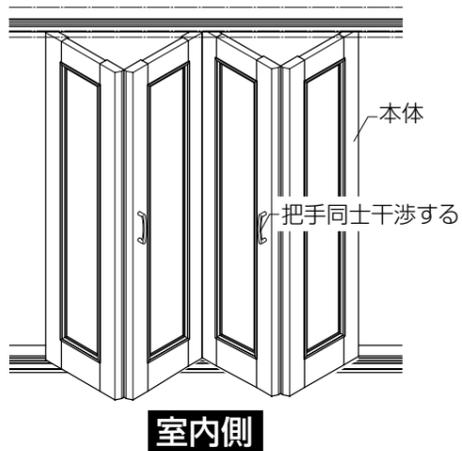
1.)ミラー付本体の場合、ミラー側の本体には把手が付きません。

**■把手横向きタイプの場合**

※DW≤270の時は把手は縦向きとなります。

**■把手縦向きタイプの場合**

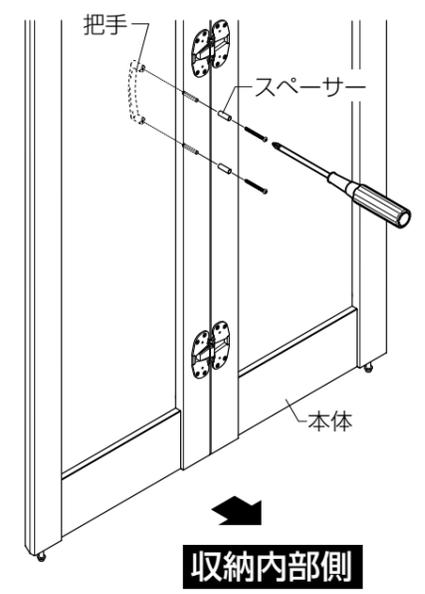
**把手取付け時のお願い**  
※フリータイプの際に本体を折った状態で向かい合わせになる本体をそれぞれに把手を取付けると、把手同士が干渉してキズが付くおそれがあります。



**【CF-WB1デザインの場合】**

※工場出荷時には、把手取付け穴は加工済みです。本体裏面よりスペーサー(把手セットに同梱)を差込み、ねじで固定してください。

**お願い**  
※把手取付けねじは、手回しドライバーで固定してください。強いトルクで締付けると、本体のへこみの原因となります。  
※WB1本体にはスペーサーを必ず取付けてください。

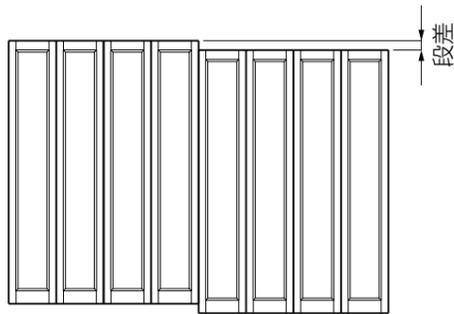


## 調整

※本体の段違い(上・下)を調整します。

### 【段違い(上・下)の調整】

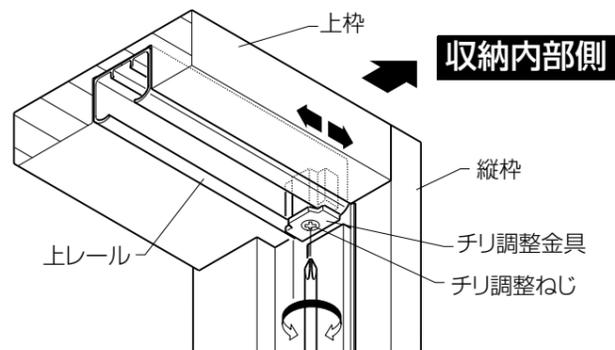
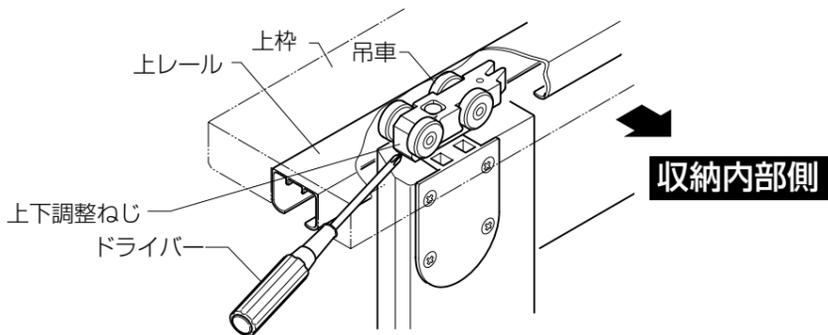
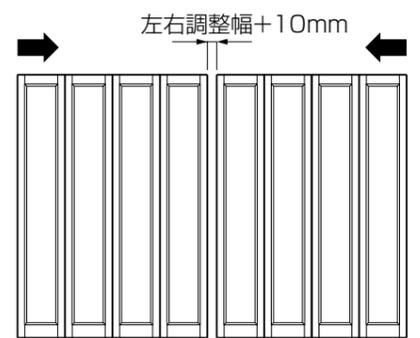
- 本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。  
(上下調整量±3mm)



### 【チリ(左・右)の調整】(フリータイプの場合)

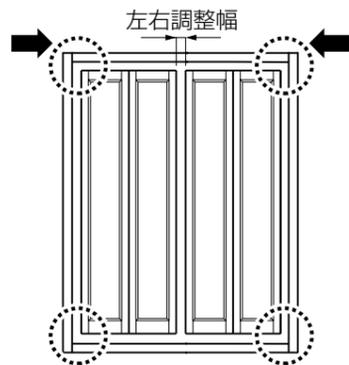
- 本体間のチリが大きい場合、上レールの端部(左右)に付いているチリ調整金具で調整できます。  
チリ調整ねじをドライバーで回し、調整してください。チリ調整ねじを右に回すと、チリが小さくなります。

注)チリ調整金具は、上レールの左右に付いています(W07・08は、片側のみ)ので、左右均等に調整してください。

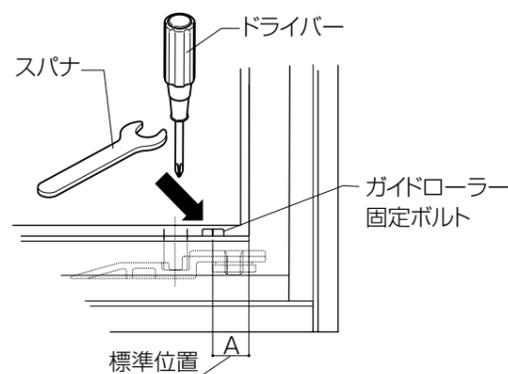


### 【チリ(左・右)の調整】(ピボットタイプの場合)

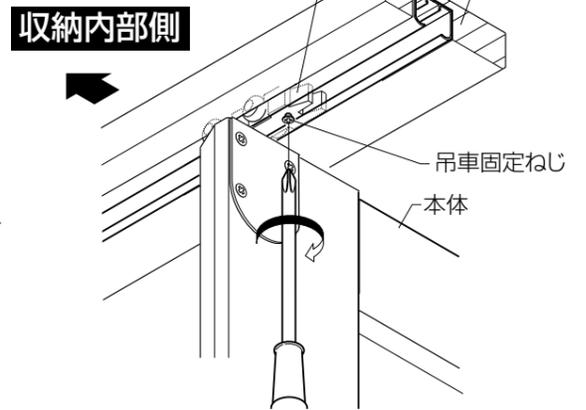
- ガイドローラー固定金具の取付け方法は【フリー→ピボットの変更】を参照してください
- 本体間のチリが大きい場合、吊車及びガイドローラー固定金具で左右調整をおこないます。



ガイドローラー固定金具の固定ボルトをドライバー又はスパナでゆるめて移動させます。



吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。

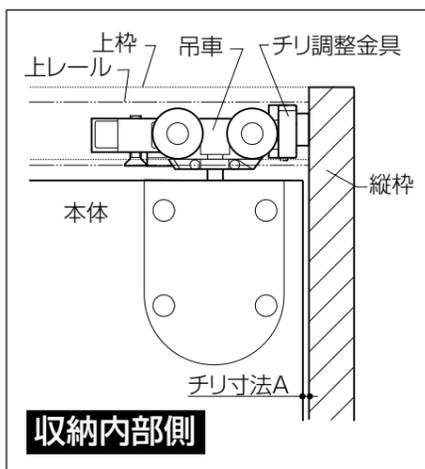


### 【フリー→ピボットの変更】

#### ●本体上部の固定

- ①本体をピボットにしたい位置まで移動させます。
- ②固定したい本体側の上部吊車に付いている「吊車固定ねじ」を回し、吊車が固定されるまでねじを回します。
- ③本体を左右にゆすって本体が固定されたかどうかを確認します。

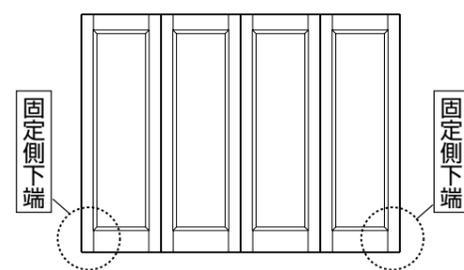
|                       | チリ寸法A (mm) |
|-----------------------|------------|
| 本体1Pの時 (W07,08)       | 3.5        |
| 本体2Pの時 (W12,13,16,18) | 4          |
| 本体3Pの時 (W24,26,27)    | 3.5        |
| 本体4Pの時 (W33,34,36)    | 3.5        |



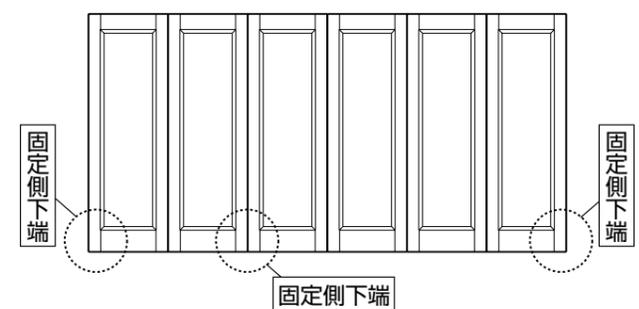
#### ●本体下部の固定

※ピボットタイプとして本体を使用する場合は、本体用部品セットに同梱のガイドローラー固定金具を用いて本体固定側の下端を固定してください。

#### ●本体2体固定の場合

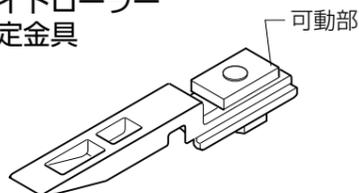


#### ●本体3体固定の場合



- ①本体を正しい位置に移動させて、本体垂直がでているか確認します。
- ②ガイドローラー固定金具可動部を下図のように長手方向に向けます。

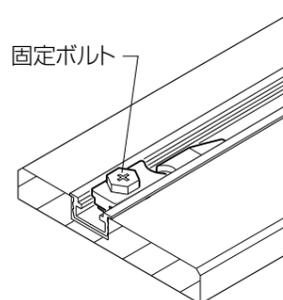
#### ●ガイドローラー固定金具



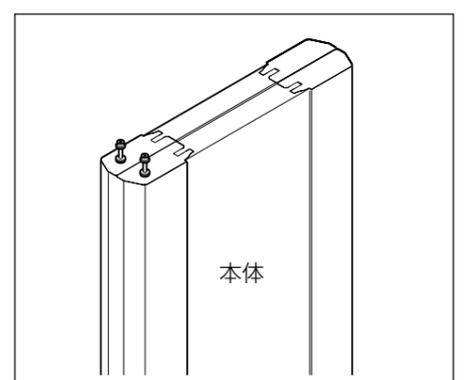
#### ●ガイドローラー固定金具使用数量

|           | 数量 |
|-----------|----|
| 本体1体固定の場合 | 1個 |
| 本体2体固定の場合 | 2個 |
| 本体3体固定の場合 | 3個 |
| 本体4体固定の場合 | 4個 |

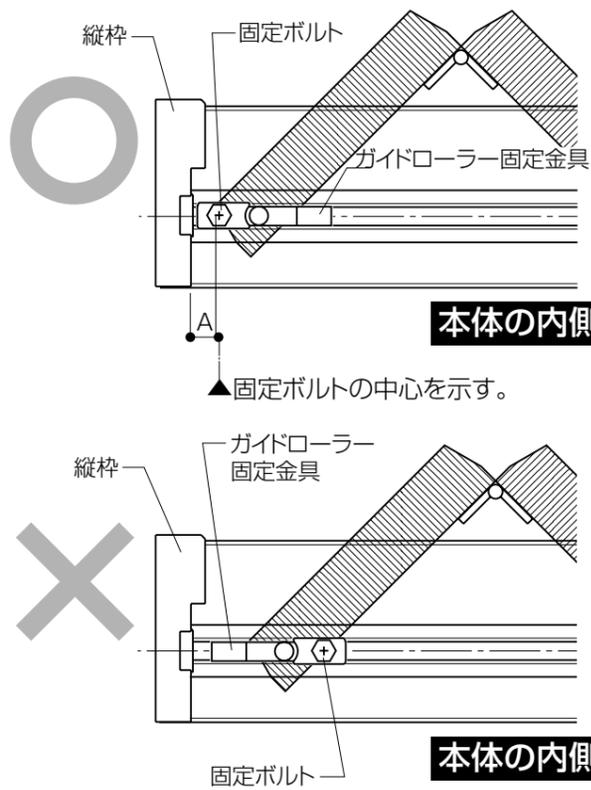
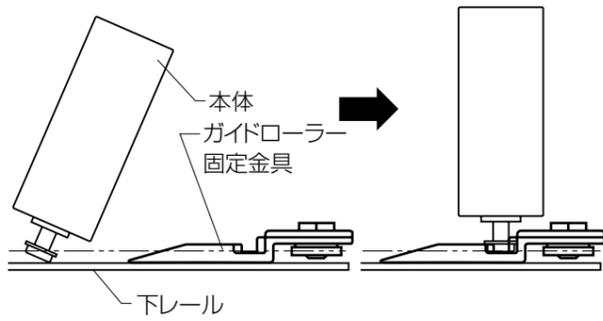
- ③ガイドローラー固定金具可動部を長手方向に保ったまま下レールに取付けます。  
固定ボルトをドライバー又はスパナにて締め付けてください。



- ④本体のガイドローラーをガイドローラー固定金具に取付けます。  
1.下図のように本体をたたみます。  
2.ガイドローラーがガイドローラー受けにはまる(「カチッ」と音がする)まで本体を立てます。  
3.別の本体も同じ手順で吊込んでください。



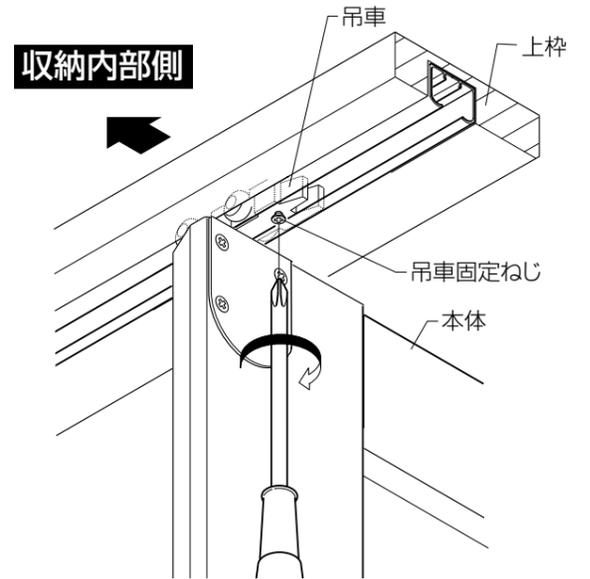
- ⑤ガイドローラー固定金具の取付け向きは、下図のように固定ボルトが本体の外側になるよう、取付けてください。  
ガイドローラー固定金具の固定位置は、右図を参照してください。
- ⑥固定ボルトをプラスドライバー又はスパナで右に回します。ガイドローラー固定金具が動かないよう固定されたかどうか、確認してください。



|                 |      |
|-----------------|------|
| 固定ボルトの中心までの寸法   | A    |
| W12,13,16,18の場合 | 13   |
| 上記以外の場合         | 12.5 |

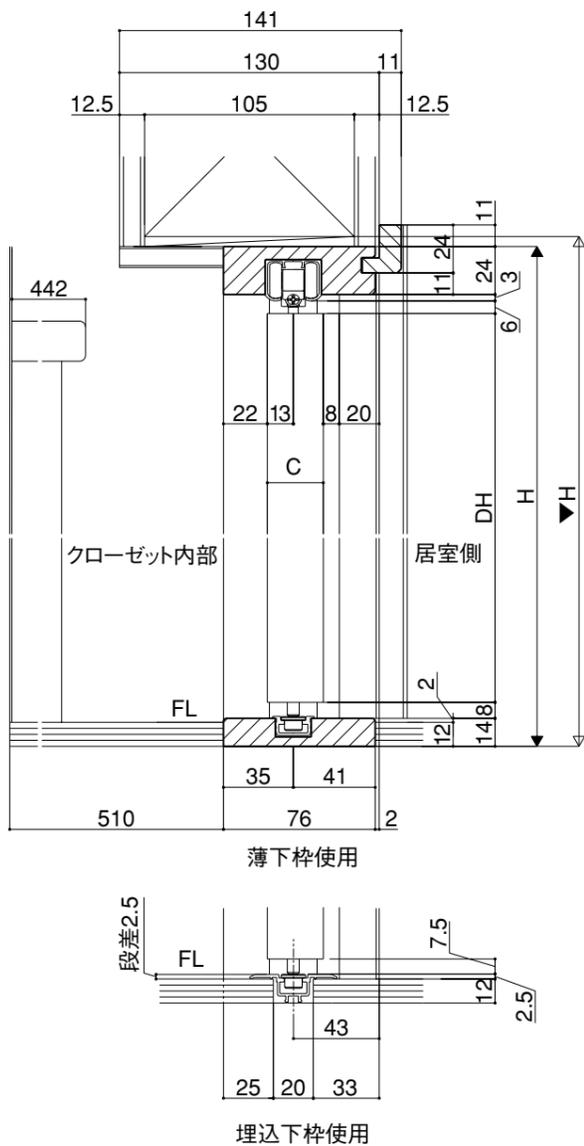
### 【ピボット→フリーの変更】

- ①吊車の吊車固定ねじを、ねじの回転が重くなるまでゆるめてください。緩める量が少ないと吊車の動きが悪くなり開閉不具合の原因となります。
- ②ガイドローラーをガイドローラー固定金具から外し、ガイドローラー固定金具の固定ボルトを緩めてレールから外してください。この時、ガイドローラーは必ず下レールにはめ込んでください。



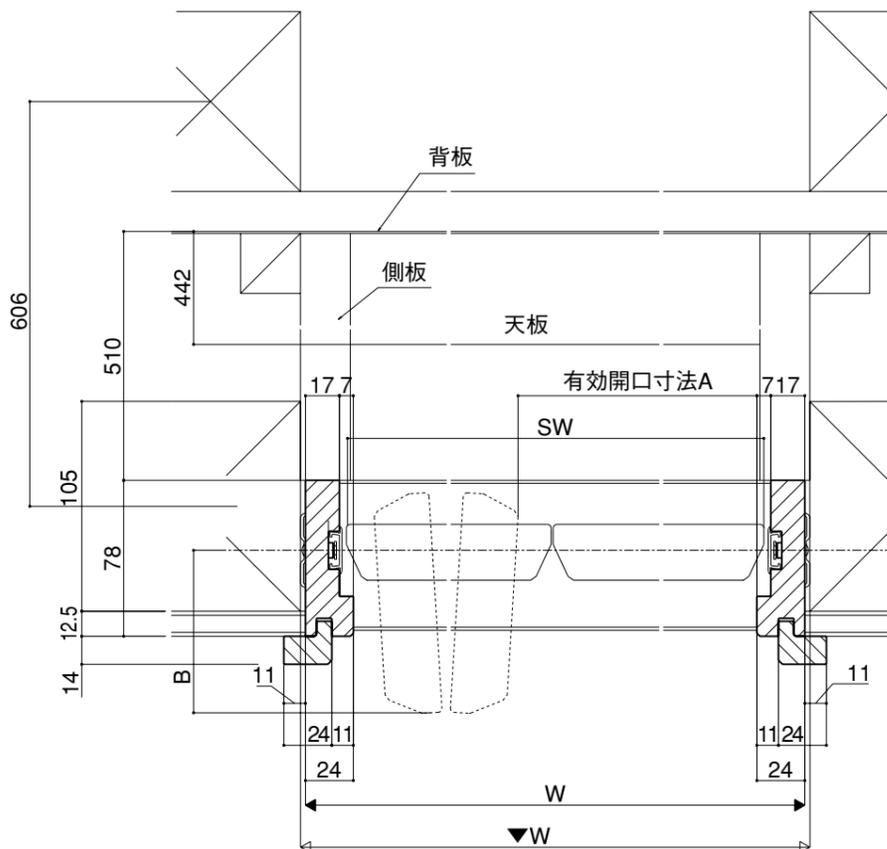
### ■納まり図

#### ■縦断面図



|           |       |            |            |           |           |           |           |
|-----------|-------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 基本寸法 (mm) | W呼称   | 07         | 08M        | 12        | 13M       | 16        | 18M       |
|           | W(SW) | 734(693)   | 824(783)   | 1183(570) | 1323(640) | 1643(800) | 1823(890) |
|           | W呼称   | 24         | 26         | 27M       | 33        | 34        | 36M       |
|           | W(SW) | 2443(800)  | 2581(846)  | 2713(890) | 3244(800) | 3428(846) | 3604(890) |
|           | H呼称   | 20         | 23         |           |           |           |           |
|           | H(DH) | 2035(1980) | 2318(2263) |           |           |           |           |

#### ■横断面図



| W呼称(枠外寸法)  | A寸法  | B寸法 |
|------------|------|-----|
| W07(734)   | 566  | 321 |
| W08M(824)  | 657  | 366 |
| W12(1183)  | 894  | 260 |
| W13M(1323) | 1034 | 293 |
| W16(1643)  | 1355 | 375 |
| W18M(1823) | 1534 | 420 |
| W24(2443)  | 2033 | 375 |
| W26(2581)  | 2171 | 398 |
| W27M(2713) | 2303 | 420 |
| W33(3244)  | 2712 | 375 |
| W34(3428)  | 2896 | 398 |
| W36M(3604) | 3072 | 420 |

※本体厚C寸法は、デザインにより異なります。(26.5~28.4)